

お悩み相談室

『まとめ』と『振り返り』の違いって？ 編

まとめと振り返りの違いが分かりにくい、振り返りに「分かったこと」を書くとまとめと同じ内容になりそうだけれど…そんな疑問はありませんか。

まとめと振り返りの違いや意義を正しく捉えた上で、「めあてに正対したまとめ」と「学習活動に見合う効果的で意図的な振り返り」を行いましょ。

まとめ

授業内容の要約・整理

「学習課題・めあて」と「まとめ」は「問い」と「答え」の関係になります。

「めあて」に正対した「まとめ」となるよう、「めあて」と「まとめ」の整合性を図りましょ。

児童生徒から出た言葉でまとめられるようにしていくことが大事ですが、学習上押さえるべきポイントはしっかり押さえる必要があります。

振り返り

自身の学びの気づき・変容等の確認・整理

授業の内容や学習過程での学びや気づきを自分の言葉でアウトプットします。

教師は、児童生徒が何をどのように理解しているのか理解の度合いを確認することができます。(どのようなことを確認したいかによって、視点やキーワードを示すことで、児童生徒の学びの状況をより意図的に見取ることができます。)

振り返りでは、児童生徒自身が学習した過程をたどりながら学習内容を確認する中で、学びを意味づけ、価値付けすることができ、自己変容を自覚したりすることにつながります。

学習内容を現在や過去の学習内容と関連付けたり一般化したりすることで学習内容の定着や知識の構造化を促します。

めあて: 四角形の角の大きさの和を、三角形の角の大きさの和(180°)を使って求めよう!

まとめ: 四角形の角の大きさの和は、三角形に分けて考えると求めることができた。

四角形の角の大きさの和は、 360°

例えば
こんな授業では…
算数編

振り返り

Aさん: 三角形の3つの角の和が 180° だということを使うと、四角形の角の大きさの和は簡単に分かりました。昨日は、いろいろな三角形の角の大きさの和を、切ったり分度器で測ったりしたけど、四角形はそんなことをしなくても分かりました。

Bさん: ぼくは、四角形の中に三角形を2つ作って角度を求めました。いろいろなやり方があったけれど、ぼくは、式が一つですむ、三角形を2つ作る方法が簡単だと思いました。同じ考え方をすれば、五角形や六角形の角の大きさの和を求められそうです。

Cさん: 私は対角線を2本引いたら三角形が4つできました。だから 180×4 で 720° になると思っていました。でもAさんの意見を聞いて、必要ではない中心の 360° を引かないといけないことが分かりました。今度からは求めたい角がどこなのかにつけて、だまされないようにしたいです。

Dさん: 私は、直線を引いて四角形を三角形に分けたら、角の大きさの和が求められることが分かりました。でもBさんが困っていた必要のない角を引く考え方はまだよく分かっていないので、今日の自学でもう一回考えてみたいです。